

# 光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



笑顔いっぱい

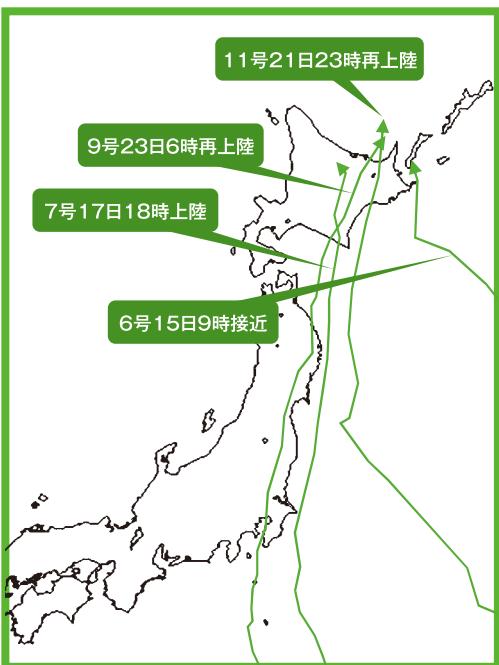
～ピンクニンニク掘りのお手伝い～  
(紹介は10ページ)

2016.9  
No.  
513

# 相次ぐ台風の来襲により

# 農作物大打撃

8月15日～23日の間で4つの台風



4つの台風の進路  
1シーズンで北海道に3つの台風が上陸するのは観測史上初

北海道に6号、7号、11号、9号と度重なる台風が8月15日から23日に渡って接近・上陸し、持続的に続く降雨や河川の増水により堤防が決壊するなど、本町では全域にわたって冠水・浸水が相次ぎ、収穫直前の農作物に大きな爪痕を残しました。

23日までの累計降水量は209.1mm、河川は上川沿で氾濫危険水位7・2mを大幅に上回る最大8・88mまで上昇、日吉地区では柴山沢川前の堤防、福山地区では27号線の東亜川堤防が相次いで決壊、圃場は日吉と福山を中心の大規模に冠水しました。この影響で、町内のほぼ全域で避難指示が発令されました。



圃場の縁に流された玉葱(福山24号)

22日には武部新衆議院議員が、25日には飛田稔章JA北海道中央会会長や佐藤俊彰ホクレン会長ホクレン会長、西一司JA北海道厚生連副会長らJA道連合会の役員、高橋はるみ知事、高橋文明、船橋賢二、塚本敏一ら道議会議員、27日は石井啓一国交大臣、28日は細田健一農水大臣政務官、台俊介内閣府大臣政務官が圃場の被害状況の調査に訪れました。



畦を流され露出した馬鈴薯

今回の災害による冠水・浸水面積は1,60ha、内未収穫面積は1,030haと、未収穫面積における浸水被害としては、前代未聞の被害となりました。その他、傾斜地では土砂の流出や、ビニールハウス、農業機械等に被害があり、今後の収穫作業等に及ぼす影響が心配されるところです。

今回の台風で被害に遭われた組合員の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。



決壊した柴山沢川前の堤防と倒壊したハウス(日吉30号川東)



濁流で流された砂利や流木などが堆積した圃場(岐阜)



決壊した東亞川堤防(福山27号上空)



浸水する第一幹線沿い(基線6号上空)



状況説明を受ける武部代議士



災害の説明を受ける高橋知事

写真提供：佐藤 茂則さん  
小野寺 靖さん

# 超省力化農業を目指して

## ～スマート農業実演会～

農業の担い手や労働力不足などの問題を克服し、今後の規模拡大、収益性向上を目指して、常呂町スマート農業研究会（佐藤文彦会長）と常呂町加工馬鈴薯生産組合（林健志組合長）が共催で、RTK-GPS自動操舵システムを搭載したトラクターの実演会を7月27日に、JAところ玉葱選別施設横の特設会場で行いました。



開会挨拶する  
佐藤会長

実演会には、北海道農政事務所の他、関係機関、組合員約100人が参加しました。開会式では、佐藤会長より「情報通信技術を早期に導入し超省力化栽培の推進と今後の規模拡大に向けトラクターの自動操舵システムを導入もを行い、参加者に自動操舵トラクターを運転してもらう事で労働力の軽減につながる技術であることを実感してもらいま

し、労働力不足を補いたい」と挨拶がありました。

実演会は、株井セキ北海道の碎土・整地、播種、培土の3つの工程を1回の走行すべてをこなすポテトプランタ、ヤンマー・アグリジャパン株とエム・エス・ケー農業機械株では整地作業として、ロータリーハローとパワーハロー、北海道クボタは、ブロードキャスターでの可変施肥の実演を、各メーカーにより機械と作業内容の説明の後、開始しました。



自動操舵システムによって作られた培土の状況を調べる参加者

係機関からは「すばらしい技術を間近で見せてもらい、情報通信技術の進歩を体験させてもらった」、「地域全体で取り組む必要性を実感した。コスト低減に向けたお手伝いをしてほしい」との意見を頂きました。

関連機関からは「すばらしい技術を間近で見せてもらい、情報通信技術の進歩を体験させてもらった」、「地域全体で取り組む必要性を実感した。コスト低減に向けたお手伝いをしてほしい」との意見を頂きました。

## にんにく



日吉地区

(株)くまがわ圃場

## 玉ねぎ



豊川地区

江田 恭之さん圃場

## 収穫作業 Snap 2016 秋小麦



富丘地区

堀田 雅仁さん圃場



設立までの経緯を説明する  
内藤発起人代表



選出された猪野間代表、内藤副代表、芥川副代表(左から)

**老後の備えとして  
農業者年金**

国が支える 積立方式で 安心

次の3つの要件を満たす方であれば、どなたでも加入できます。

- 年間60日以上 農業従事
- 国民年金1号 被保険者
- 60才未満

農業者年金の特徴

- 積立方式で安心
- 加入・脱退も自由
- 保険料は全額社会保険料控除
- 保険料はいつでも変更できる
- 農業の扱い手には保険料補助
- 終身年金 80歳までの死亡一時金あり

お問い合わせは  
営農企画課又は農業委員会まで!

水系利用者が第一幹線排水路水系整備に伴う農地の浸水防止対策を推進することを目的とした期成会を6月23日、JJA会議室にて設立総会を開きました。

設立にあたり、発起人代表の内藤明氏は「近年の集中的豪雨で支線も含め、数日間川の水位が下がらず、畑に停滞水が発生する事がたびたび起るようになつた。この問題は、地域の問題だけでなく第一幹線水系利用者全体の問題として捉え、行政に改善方策を要請する事となり発起人に協力してもらい本日を迎えた」と、設立までの経緯について挨拶がありました。

役員選出では、代表に猪野間信夫氏、副代表に内藤靖彦氏、芥川将明氏が選任されました。

猪野間代表は就任挨拶で「今後の活動は、北見市に要請書を提出し、早期対策をしてもらえるよう努力します」

今後、期成会員全員の思いを北見市に要請活動を通じ伝えていきます。

第一幹線水系農業農村整備期成会(猪野間信夫代表)は、7月13日に北見市へ第一幹線排水路整備の要請書を提出しました。

要請書は、当JJAの小野寺組合長、当期成会の猪野間代表、内藤・芥川副代表が、北見市常呂自治区の辻孝宗自治区長、小笠原支所長へ手渡しました。その後、被害状況の概要説明・改善方策などを、第一幹線水系の問題について熱心に説明し、早期解決に向けてお願いしました。



早期解決に向け説明する猪野間代表(左から3人目)

# 農地浸水防止を目的に

農村整備期成会 設立

排水路整備を  
北見市に要請

# 常呂町の農業を実体験!



●玉ねぎの収穫をする濱谷凌平さん



●管理作業を行う山田拓実さん

実習生は、甜菜・玉葱の除草や収穫した小麦の受入補助など、気温が高い中、全身汗を流しながら実習を行っていました。また、実習期間中には、大学の八谷教授も駆けつけ3人を激励しました。

志会長（林健志会長）は、拓殖大学北海道短期大学生3人を7月27日～8月10日までの15日間受け入れ、実習を通じて常呂の農業を体験しました。

実習生は、自分たちの住んでいる地域とは違う作物や農作業に触れ、新しい発見や地域によって違う作業体系に戸惑いながらも、受入農家から多くを学び今後の学校生活、卒業後の就農において、とても有意義な実習になったのではないかでしょうか。



●JA麦乾工場の受入を手伝う若松亜弥音さん

北海道獣友会北見支部は7月24日、北見国際クレー射撃場で担い手発掘安全射撃講習会及び競技会を開催しました。

同講習会には富丘地区の土田貴千さん、豊川地区的清尾雅人さんを含む計55人が参加、腕を競いました。

## 射撃競技会で 土田貴千さん優勝!

（管内獣友会射撃講習会）

結果は、土田さんはAクラス（ジェントルマン・上下銃）で見事に優勝、清尾さんも5位入賞となりました。当日は射撃大会の見学や射撃シミュレーター体験、エゾシカカードの無料試食会などに多数の市民が参加し賑わいました。



●見事優勝した土田貴千さん（右）

当JAの前組合長である久世篤史氏より、昭和40年頃の常呂町の農村地図を寄贈していただきものをもとに、復刻版として再版したものを8月1日、聖徳太子祭の際に、当JAの小野寺俊幸組合長から各町内会へ贈呈しました。

なお、この復刻版地図については小野寺組合長より各町内会の会館に掲示していただくようお願いしました。



●各地区の町内会長一人一人に手渡しました

# 各地区町内会に農村地図贈呈



# 小学生に食と農を伝える!



小笠原マチ子さんより調理の仕方を教わる子どもたち

その後「いただきます」とだきました。慣れた手つきで玉ねぎやとり肉を切り、和気あいあいと楽しそうに調理をしていました。それをみた講師の小笠原征一さんは「子どもたちの包丁使いの上達が早く、とても感心している。家でもお母さんのお手伝いをたくさんして、料理ができる子に育つてほしい」と笑顔で話しました。

この料理教室は、農業と食の大切さを子供たちに伝え知つてもらうこと目的に、平成25年から開催していく、今年のメニューは「オムライス」「シーザーサラダ」「アイスクリーム」の3品を調理。参加した子どもたちは3班に分かれ、講師の小笠原誠二さん・マチ子さんの説明を受けながら料理を通して交流を深めました。



完成した料理と一緒に記念撮影



みんなで協力して盛り付けました!

JAのクルマ  
もうそろそろ…と  
お考えの方は

まずはJA自動車担当窓口にご相談を!

御見積書

□新車  
□中古車  
□車検

まずはJA自動車担当窓口にご相談を!



## 夏の新車フェア

2016年  
9月30日(金)  
契約分まで

終了迫る!!

TOYOTA

SUZUKI

SUBARU

の新車ご購入で、

A 高級軽車

B 旅行券(30,000円分)

C IH炊飯器

3.5合炊き

D クルマードアノブ

E 高圧洗浄機

K3サイレント

セレクト・フォー・ユー(10,000円相当)

♪♪♪♪♪

いずれか1つをプレゼント!

※業務用車両は、プレゼントの対象外とさせていただきます。

軽トラック新車ご購入でスタッドレスタイヤ4本(ホイール付き)プレゼント!

御用命は資材課(54-2300)まで!

# 子どもたちが会場を盛り上げる！

「第36回岐阜町内会夏祭り」が7月17日、岐阜集落センターで行われました。

本年の無事故と豊作を祈願する馬頭祭が神社で行われ、引き続き「子どもみこし」、「子ども相撲」などが行われました。当日は、あいにくの雲の空でしたが、子どもたちの元気あふれるパワーでみこしを垣間活気あふれています。

その後、白熱した「班対抗競技」が開かれ、懇親会では焼肉を囲みながら

「抽選会」などのイベントが大いに盛り上がり、参加者みんな笑顔のたえないうお祭りとなりました。



熱戦を繰り広げた子ども相撲大会！(写真提供：古館晋さん)

## 地元野菜などを生産者自ら販売！

毎年行われている「ところ市」が今年も8月13日に「やわら音」「あおぞら市部会」「よめさんねっとわーくさぐらちゃん」「Kottabaru(コットバル)」「石川服店」が参加し、中央公民館で開かれました。

晴天に恵まれた当日は、館内・館外問わず大勢のお客さんで賑わっていました。



多くのお客様が訪れていました

## 農作業事故防止の徹底！

### 【農作業安全の実践・確認項目】

- ① 休憩の取れる無理のない作業
- ② 農作業や機械作業に適した服装
- ③ 点検・整備は必ずエンジン停止
- ④ 油断せず後方確認、足元注意
- ⑤ 慎重なほ場への出入り、慎重なあぜ越え
- ⑥ 農道の走行時は、路肩の状況を確認
- ⑦ 道路走行に備え、反射板を装着

暴風雨等の悪天候時には、ほ場に行かない！「もしも」のために携帯電話を持参!!



## ちよと発信

### J A マンコーナー

発信No.33

J A職員からのオススメをジャンルにこだわらずに紹介するコーナーです。

販売課

青果係長

原田

亮

冬のスポーツと言ふとカーリング、スキーケート、スノーボード、氷上チカ釣りが思い浮かびますが、私が入組時より行っているスノーモービルについて紹介いたします。

最初は腰まで埋まるひかづかの雪の中で、乗るというよりハマつてばかりで、雪に埋もれ、マイナスの気温の中汗だくだいた事を今でも忘れません。今では、スノーモービルの性能も上がり、体重0・1トンを超える私をスマーズに？山頂へ運んでもらえます。翌日は全身筋肉痛にはなりません。今では、スノーモービルの性能も上がり、体重

0・1トンを超える私をスマーズに？山頂へ運んでもらえます。翌日は全身筋肉痛にはなりません。今では、スノーモービルの性能も上がり、体重



スノーモービルを楽しむ原田係長



## 第6回理事会報告

1. コンプライアンスに係る規程類の改正について  
原案通り一部改正することで承認されました。
2. 平成28年産共計小麦の仮渡金について  
○きたほなみ 1,267円/60kg  
○ゆめちから 1,121円/60kg  
○春よ恋 1,420円/60kg  
で仮渡することで承認されました。
3. 平成28年産共計玉葱の仮渡金について  
50,000円/10aで仮渡することで承認されました。
4. 固定資産の取得について(100万円以上)  
平成28年度事業計画に基づき、次の固定資産を取得することで承認されました。  
○名称 農協事務所第2応接室設置改修工事  
・事業費 2,997千円  
・業者 (株)早水組  
○名称 農協事務所第2応接室備品  
・事業費 1,106千円  
・業者 (有)ポイントライン  
○名称 JASTEM次期端末機

・事業費 5,097千円

・業者 沖電気(株)

### 5. 固定資産の取得について(計画外)

次の固定資産を取得することで承認されました。

○名称 芋・玉葱用スチールコンテナ1,000基

・事業費 19,900千円

・業者 生産部資材課

### 〈報告事項〉

1. 第1四半期監査報告について
2. 平成28年度農作物実測面積について
3. 固定資産の取得について(100万円以下)
4. コンプライアンス・プログラム取組状況の追加報告について
5. 組合員交流会開催報告について
6. 平成27年産共計玉葱の本精算について
7. 平成28肥料年度早取り肥料取りまとめ実績について
8. シストセンチュウ植物検診の結果について
9. 平成28年度農業労災加入状況について
10. 組合員の加入・脱退について
11. 農業委員会報告について

## 行事予定表

9月1日(木)~9月30日(金)

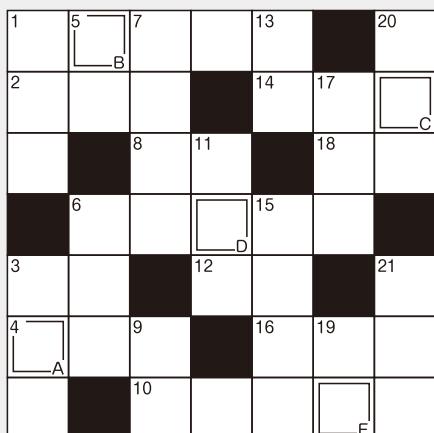
9月12日(月) 秋季祭典

9月25日(日) 農休日

9月19日(月) 敬老の日

9月27日(火) 第8回定期理事会

9月22日(木) 秋分の日



## Crossword Puzzle ～クロスワード・パズル～

二重マスの文字をA~Eの順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょうか?

### タテのカギ

- ①分速を60倍すると
- ③○○○にかけて育てた作物
- ⑤無の反対語
- ⑥( )や【】などのこと
- ⑦結婚式でご祝儀を渡したり芳名帳に記入したりする場所
- ⑨引いて当たり外れを決めます
- ⑪一重の人も二重の人もいます
- ⑬あまり腕の良くない医者のこと
- ⑯鳥籠の中につける棒
- ⑰マツタケを○○○蒸しにして食べた
- ⑲○○のように丸い月
- ⑳カメやカッパの背中に付いています
- ㉑プロレスの試合で「カーン!」と鳴らします

### ヨコのカギ

- ①スキや団子を供えて月を鑑賞します
- ②芸事の家元のこと
- ③○○は熱いうちに打て
- ④お遍路さんがぐるりと巡る
- ⑥寝相の悪い人は蹴飛ばしてしまがち
- ⑧夫のパートナーです
- ⑩ゆっくりした速さで走ること
- ⑫丸々とした○○のような赤ちゃん
- ⑭巨峰、ピオーネ、マスカットベリーAといえば
- ⑯花束に結べばいっそう華やかに
- ⑱宣伝などを書いて通行人に配る物

### 先月の当選者・解答

8月号のまちがい探しの答えは、  
**「1、3、7、10、12」**でした。  
抽選の結果、次の方々が当選しました。  
おめでとうございます。  
清尾 好惺さん(豊川)  
石田 結子さん(富丘)  
川崎 芳江さん(土佐)  
今橋 蓮さん(富丘) ※( )内は  
地区名です。

### 応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。  
抽選で、粗品をプレゼントします。

★チョウチョとバッタをつかまえました。たのしかったです。  
(豊川地区・清尾 好惺さん)

★広報はとっても面白いので、いつも楽しみにしています。  
(富丘地区・石田 結子さん)

★麦の収穫・玉ねぎなど忙しい日が始まりましたね。事故がなく身体に気を付けて頑張りましょう。(土佐地区・川崎 芳江さん)

### 読者の声



# 光と風の大地

編集・発行

常呂町農業協同組合

〒093-10210

北見市常呂町字常呂六百八番地

☎0152-54-2121

豊川地区の田渕正彰さん(62)は、この春の叙勲にて藍綬褒章を受章しました。藍綬褒章は、地域の公共利益に貢献した人に授与される褒賞で、毎年春と秋に内閣府より発表されます。

田渕さんは、昭和50年9月に常呂消防団に入団、平成24年から、優れた実行力や温厚で誠実な人柄から、関係者の総意により団長に任命されました。農業を営む中、郷土愛・精神のもと、地域住民の生命・身体・財産を災害から守るために防災業務に尽力され、こうした長年の努力が認められ、今回、藍綬褒章を大臣より授与されました。



●伝達式に出席した田渕正彰さん・春美さん

受賞に対し、田渕さんは「家族の理解が無ければできなかつた。今後も消防署などとしっかり連携し、自分たちの手で地域を守つていきたい」と決意を新たにしました。

田渕さんの藍綬褒章の受賞を受け、北見市は8月8日に祝賀会を開催しました。田渕さんの今後のご活躍に期待いたします。



●授与された藍綬褒章

## 田渕正彰さん藍綬褒章を受章

バラ600本が  
お出迎え!!



こちらのローズガーデンは作り始めてから今年で10年目。バラの種類は200種類以上あり、その他にもたくさんの花が咲いています。最盛期にはバラの香りが辺り一面漂い、訪れた人の心を癒してくれます。ヨシミさんは「友だちのお庭に行つて花を見ながらおしゃべりしたりすることができ楽しい」と話す、「色んな人に来て見てもらいたいバラを好きになつてもらいたい」と話しました。

### 編集後記

●8月15日～23日まで続いた台風の影響により、農作物に甚大な被害を及ぼしました。災害に遭われた方には、心よりお見舞い申し上げます。

台風通過後も、度重なる降雨により収穫作業が思うように進まず、やきもきしているものとお察ししますが、くれぐれも焦りから農作業事故にならないよう、落ち着いて収穫作業にあたっていただきたいと思います。

《営農企画課：広報担当》

### 笑顔いっぱい

ピンクニンニク掘りのお手伝い

今月号の「笑顔いっぱい」は、富丘地区の森澤太陽くん(7)、朝陽くん(5)とおじいちゃんの修一さん、おばあちゃんの恵子さんです。

ちょうどニンニクの芯掘り作業のお手伝い中にお邪魔させていただきました。

ところ産ピンクニンニクのブランド化のために、森澤家一家総出で掘り取り作業。大きなニンニクに2人は満面の笑みでした。

そんな2人に修一さんは「元気な子に育ってほしい」と笑顔で話していただきました。